



第21回仁尾竜まつりが市役所仁尾支所周辺で開催されました。特設ステージでは、仁尾小マーチングバンドの演奏や13の連が参加した踊りコンテストで観客も一体となって盛り上がりました。メインイベントは、もちろん稲わらと青竹でつくった雨乞い竜の「水浴ぶせ」。担ぎ手の「雨ごいじゃ」「そーれ、水浴ぶせ」のかけ声にあわせ、沿道の見物客から一斉に水が浴びせられました。



## ★みとよHOT★ ★ほっとNEWS★

三豊市ホームページ(<http://www.city.mitoyo.lg.jp/>)で好評配信中!!



8/4

市で募集していたお茶娘ロボットの名前が決まりました。お茶娘ロボットの名前は「みっちゃん」と「とよさん」。地名と人形からのイメージで決定しました。みっちゃんとはとよさんは、8月8日に香川県庁ロビーで、甲子園で戦う香川西高校を応援しながら冷茶を接待しました。

第20回比地大地区花火大会が比地大小学校で開催されました。花火の前に、地元子ども会がキャンプファイヤーの前で元気いっぱい踊りや歌を披露しました。フィナーレの打ち上げ花火は「ドン、ドドン!!」と迫力満点。会場の真上の空いっぱいに花火が広がるごとに、大きな歓声と拍手が鳴り響いていました。



7/27

七宝山トンネル(豊中町~仁尾町)で、交通事故や車両火災を想定した防災訓練が行われました。

訓練には、三豊署や三観広域消防、三豊市消防団などが参加し、事故発生から通報・人命救助・煙対策・消火活動と実践形式で訓練しました。



7/30



7/30

大見幼稚園へ「夏休みボランティア体験」の市内中学・高校生のお兄さんやお姉さんがやってきました。児童は、お兄さんやお姉さんとペアになって、虫取りやシャボン玉、プール遊びをして楽しみました。いっぱい遊んだあとにみんなでいっしょに食べたお弁当は、ほんとおいしくて笑顔がいっぱいになりました。

プロバスケットボールチーム『高松ファイブアローズ』のバスケットボールクリニックが三豊・観音寺の中学生を対象に高瀬町総合体育館で開催されました。パスやドリブルなどの基本を中心に指導を受けたあと、ミニゲームをしてプロの技術や姿勢に触れることができました。



8/8



8/9

『みとよロボットコンテスト2008』がマリンウェブで開催されました。参加チームは、動作を自由にプログラミングしたロボットを使って、2分間でペットボトルを倒した数で得点を競い合い、白熱した試合を繰り広げました。

水の大切さを教えてくれる香川用水記念公園で水辺の納涼祭がありました。園内では、ミニ列車や本格派シャボン玉、竹の水鉄砲など子どもたちが体験できるコーナーがたくさんありました。なかでも魚のすくい取りは、おせいの子どもたちに大人気。ずぶぬれになりながら魚すくいに熱中しました。



8/3



8/11

元卓球世界チャンピオンの松崎キミ代（現姓 栗本）さんが高瀬町体育館で郷里の後輩を指導しました。今回指導を受けたのは、全国大会4連覇を果たした吉津小学校6年の前田美優ちゃんをはじめ、高瀬クラブの子どもたち。松崎さんは、久しぶりだからといいながらも、指導中に見せるフットワークやラケットのふりは、現役時代を思い出させるほどすばらしく、熱心に指導してくれました。



7/30

仁尾小学校の児童がアメリカ合衆国ワウパカ市の中学生と交流会を行いました。毎年、竜まつりにあわせてワウパカ市から中学生が訪れており、今年で14回目。交流会では、児童が合奏や英語劇「うらしまたろう」を披露したり、いっしょに書道を楽しんだりしました。

第37回たくま港まつりが詫間市民運動場とその周辺で開催されました。「舞い舞たくま踊りコンテスト」では、華やかな衣装に身を包んだ21連の踊り子がうらしまサンバのリズムに合わせて、エネルギッシュに舞い観客を魅了しました。ステージでは、爆笑ライブやコンテストの結果発表で一気に盛り上がり、尺玉と600発の打ち上げ花火で、みとよの夏祭りを締めくくりました。



8/9

